

平成 28 年 2 月 22 日
 近畿総合通信局

近畿広域圏における V-Low マルチメディア放送の開始 —全国で初めての V-Low マルチメディア放送—

近畿総合通信局（局長：上原 仁（うえはら ひろし））は、本日、株式会社 V I P（ヴィアイピー）（代表取締役社長 仁平 成彦（にひら なるひこ））に対して、近畿広域圏の V-Low マルチメディア放送を行う移動受信用地上基幹放送局親局（大阪局）に免許を付与しました。

また、総務省は、同日付で大阪マルチメディア放送株式会社（代表取締役社長 石井 博之（いしい ひろゆき））に対して、V-Low マルチメディア放送を行う移動受信用地上基幹放送の業務を認定しました。

今般、近畿広域圏における V-Low マルチメディア放送のハード（放送設備）とソフト（放送番組）の両方が整備されたことで、3月1日*より放送が開始される予定です。また、関東広域圏及び福岡県においても同時に放送が開始される予定となっており、全国で初めての V-Low マルチメディア放送の開始となります。

免許した V-Low マルチメディア放送を行う移動受信用地上基幹放送局

申請者	放送局名	電波の型式、周波数及び空中線電力	放送区域	放送開始予定月日
株式会社 V I P	V-Low 大阪局	3M90 X7W 105.428571メガヘルツ 10キロワット（最大実効輻射電力26キロワット）	大阪府、京都府、奈良県、兵庫県の一部 （別紙1のとおり）	平成28年3月1日*

※：放送開始予定月日は、変更になる場合があります。

○ V-Low マルチメディア放送とは、地上アナログテレビ停波後の周波数のうち 99 メガヘルツを超え 108 メガヘルツ以下の周波数を使用して行う携帯端末向け放送です。

なお、ハード（放送設備の整備）とソフト（放送番組の制作）が別の主体により、整備されます。

○ V-Low マルチメディア放送のサービスでは、各種エンターテインメントや行政情報、地域関連の生活情報等に係る映像、音楽、データなど様々な形式のコンテンツが、蓄積型放送やリアルタイム型放送によって、携帯端末、車載端末やデジタルサイネージ向けに提供されます。

<参考資料>

- ・ 免許した V-Low マルチメディア放送の放送区域図・・・別紙 1
- ・ V-Low マルチメディア放送の概要・・・別紙 2

【関係報道資料】

近畿広域圏におけるV-Low マルチメディア放送に予備免許

－近畿管内で初めてのV-Low マルチメディア放送－【平成27年10月16日】

http://www.soumu.go.jp/soutsu/kinki/01sotsu07_01000734.html

99MHz を超え 108MHz 以下の周波数を使用する移動受信用地上基幹放送局（近畿広域圏のV-Low マルチメディア放送親局）の予備免許に係る電波監理審議会からの答申

【平成27年10月14日】

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu09_02000124.html

V-Low マルチメディア放送を行う移動受信用地上基幹放送（近畿広域圏）の業務の認定に係る電波監理審議会からの答申【平成27年12月16日】

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/02ryutsu09_03000181.html

連絡先：放送部 放送課（担当：武藤、阪本）
電 話：06-6942-8566

【V-Lowマルチメディア放送大阪局放送区域概略図】

— 放送区域のめやす

● 送信所

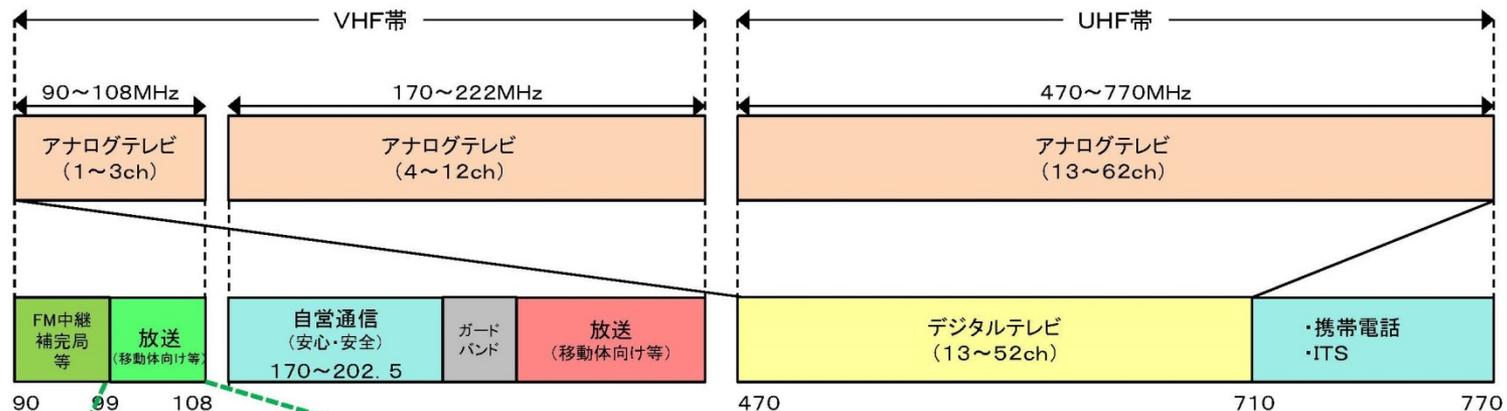


※エリア内であっても地形条件やビル陰等により電波が遮られるなど、受信出来ない場合があります。

地上テレビジョン放送のデジタル化に伴い利用可能となったVHF帯のうち99MHzを超え108MHz以下の周波数を使用して、携帯端末等に、映像・音声・データ等の様々な情報を、柔軟に組み合わせて送信する放送サービス。

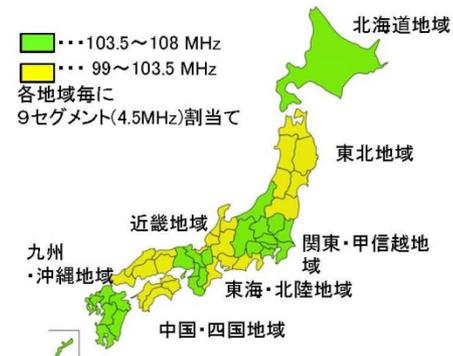
V-Lowマルチメディア放送は、携帯端末や車載型の受信機で、移動しながらでも情報を入手できる「携帯性・移動性」と、不特定多数に対して同時に情報を提供することができる「放送」という機能を有する新たなメディアです。

全国各地方の都道府県からなる「地方ブロック」（7ブロック）を対象とし、地域密着の生活情報や安心安全情報等を放送する「地方ブロック向け放送」として、地域の活性化やより安心安全な社会の実現に寄与することが期待されています。



V-Lowマルチメディア放送
(99MHz～108MHz)

- 車載器や携帯端末での受信が中心
- 地域向けの放送(全国7ブロック)



V-Lowマルチメディア放送のサービスイメージ

リアルタイム型放送

■ 全ての視聴者が同時に受信設備において視聴することができる形態の放送

交通情報・SA/PA情報
音楽
カーナビ
スマートフォン
安心安全情報
ニュース
防災ラジオ
タブレット端末

蓄積型放送

■ 受信者があらかじめ受信設備に蓄積させておくことにより、蓄積後の任意の時間に視聴することができる形態の放送

番組運動コンテンツ
地域情報
地域情報
デジタルサイネージ
クーポン
自動販売機
スマートフォン

※映像、音響、データ等の様々な情報を組み合わせて放送することが可能。

ドライバー向け情報

【端末】

- 車載機

【番組内容】

- ドライバー向け音楽番組とデータ配信の組み合わせ

【音声】

- ①24時間・5.1サラウンド
- ②(ドライバー向け)音楽コンテンツ中心
- ③広域情報(全国&地域ニュース・天気予報・その他)

【安心安全】

- ①(高速)道路走行に関する安心安全情報
- ②サービスエリア/パーキングエリア関連情報
- ③広域情報(地域観光情報・地域物産イベント情報等)

地域コンテンツ配信

【端末】

- ①パーソナル端末(フォトフレーム型・タブレット型端末)
- ②公共サイネージ(街頭・鉄道・バス・船舶・その他)

【番組内容】

- ①音声+静止画
- ②公共サイネージ用動画

【音声】

- ①FMと同等レベルの総合編成・地元FMイメージ
- ②(「ながら聴取」向け)トークコンテンツ中心
- ③狭域情報(地域ニュース・生活情報・その他)

【安心安全】

- 地域の安心安全情報基盤・地域密着(防災・防犯/地域コミュニティの再生)

【その他】

- マルチメディア放送の機能を活用したコンテンツ・サービスの提供も展開

V-Lowマルチメディア放送の受信端末イメージ

【主な受信端末】



スマホ／タブレット



Wi-Fiチューナー



車載器



簡易端末



デジタルサイネージ

ストリーミング
放送番組



- 番組と連動した
地域CM
- 番組連動コンテンツ
(番組情報、楽曲情報、
天気予報 等)
- 聴取者からの投稿
- 地域からのお知らせ
(学校や行政)



- [蓄積型サービス]
- ・ショートムービー
 - ・電子チラシ
 - ・CMカード 等



**認定基幹放送事業者
(移動受信用地上基幹放送)**

事業者名	大阪マルチメディア放送株式会社	
代表者名	代表取締役社長 石井 博之	
OFDMフレーム及びセグメント数	3セグメント形式のOFDM フレーム 3セグメント	3セグメント形式のOFDM フレーム 3セグメント
番組数	3番組	5番組 (うち1番組は左と重複)
番組名	「TOKYO SMARTCAST チャンネル」(仮) 「CREATOR' S チャンネル」(仮) 「KANSAI チャンネル」(仮)	「Amanek チャンネル」(仮) 「MUSIC SELECT チャンネル (the classic)」(仮) 「MUSIC SELECT チャンネル (the jazz)」(仮) 「MUSIC SELECT チャンネル (the sound)」(仮) 「KANSAI チャンネル」(仮)